

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 器具形名 | LEDG88075Y |
| 適合ランプ(別売) | LED電球一般電球形(E26口金)LDA8-G/60Wまで |

このたびは東芝LED照明器具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解ください。

■安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害・損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は、図記号の意味を示しています。

図記号の説明

| | |
|--|---------------------------------|
| | 中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。 |
| | 中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。 |
| | 中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。 |

工事店様へ

- ・配線器具等の電気工事に関しては、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。
- ・工事終了後、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

お客様へ

- ・この器具の取り付け、取りはずしには資格が必要です。
- ・取り付け、取りはずしは、販売店、工事店に依頼してください。
- ・お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

- 次の場所での取り付け、使用はしない(屋内専用)

(落下によるけが・感電・火災などの原因)

- ・薄い、または強度が不十分な天井面・壁面
- ・屋外・浴室などの湿気の多い場所
- ・暖房器具、ガス器具などの真上付近の温度の高い場所(使用可能温度は、5℃～35℃の範囲)
- ・振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所
- ・風や直射日光の常にあたる場所



禁止

- 器具・ランプに直接水をかけて洗わない

(器具の破損・落下・感電などの原因)

- ランプ交換やお手入れのときは、電源を切る
- ランプ交換は、取説に表示されているランプの種類、ワット(W)数の適合ランプを使用する



禁止



指示

- 器具の取り付け、取りはずしするときは、電源(ブレーカー)を切る

(感電の原因)

- 器具の取り付け・取りはずし方法は、取扱説明書に従う
- 器具は確実に取り付ける(落下・感電・火災の原因)
- 交流100V(正弦波)で使用する
- センサー連動の送り配線は換気扇(別売)30W1台までとする(感電・発熱・火災の原因)
- 器具を取り付けるときは、ランプをはずす



指示

- 紙や布などを器具にかぶせたり、器具の近くに置いたりしない(火災などの原因)



禁止

- 器具を分解・改造・修理・部品変更しない

(火災・感電・落下の原因)



分解禁止

- 点灯中・消灯直後は、ランプや器具を触らない

(やけどの原因)



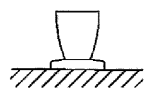
接触禁止

- 次の場所には取り付けない

◎この器具は天井取り付け専用です。指定以外での取り付けを行った場合、火災・感電・落下してけがの原因となります。



取り付け



×
床面



×
壁面・傾斜天井



注意

「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

- 調光器(当社商品名コントロールクスなど)と組み合わせて使用することはできません。(短寿命の原因)



指示

- ランプ交換などでグローブやランプをはずした後、再度取り付ける場合は、取扱説明書に従う

(部品落下の原因)

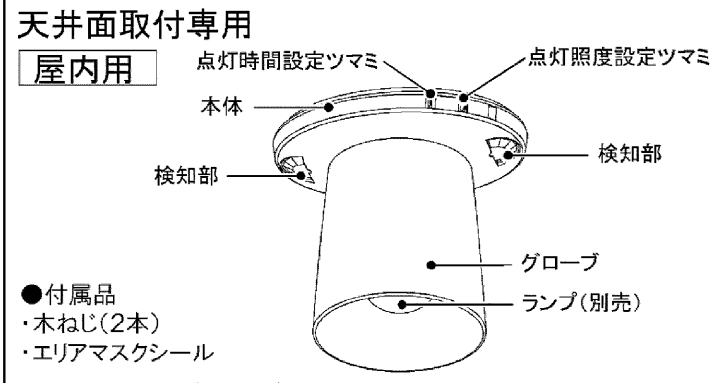
- 1年に1回の「安全チェックシート」による自主点検、および3年に1回の工事店などの専門家による点検を実施する



指示

(点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙・発火・感電の原因)
◎「安全チェックシート」は、当社のホームページに掲載しています。

■各部のなまえ ※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。



■センサー送り機能

換気扇(別売)30W1台まで人感センサーと連動して動作させることができます。
当社指定の換気扇が送りで増設できます。

＜適合換気扇＞
・DVF-T10CL
・DVF-T10CB
・DVF-G10L8

※換気扇以外の送りは故障の原因となります。
※センサー付小形シーリングライトを送り配線で増設しないでください。故障の原因となります。
※浴室乾燥機や24時間換気システムには接続できません。

■器具の取り付けかた ※器具取り付けの際は、必ず電源を切ってください。

1. 器具取り付けの前に

- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 1つの壁スイッチに1台でご使用ください。(1つの壁スイッチに2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- この器具は照明器具への送り配線は、できません。
- 他の照明器具から1m以上離れた場所に取り付けてください。(図1)
(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)
- 壁面から0.3m以上離れた場所に取り付けてください。(図1)

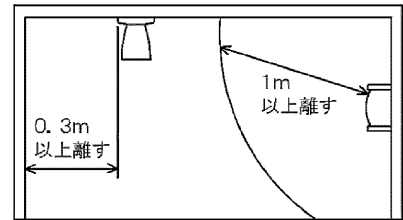
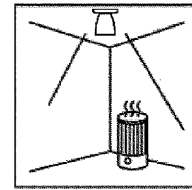
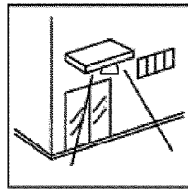
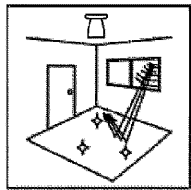


図1

次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります)

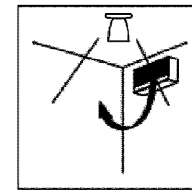
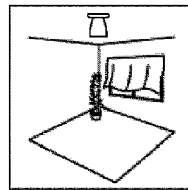
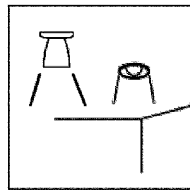
- 大理石など反射の強い床面のある場所。
- 軒下や屋外の場所。
- 急激な温度差、湿度差のある場所。



- 他の光源に近い場所。

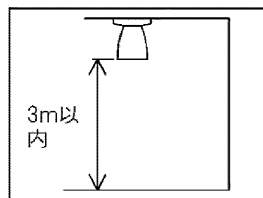
- 風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。

- エアコンの吹き出し口の近く、吹き出し口に対向する場所。

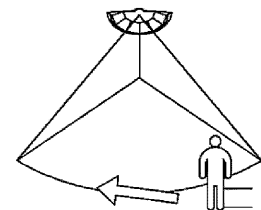


人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

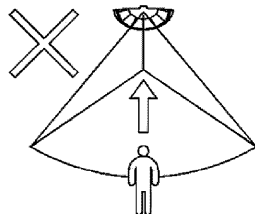
- 高さ3m以内に設置してください。



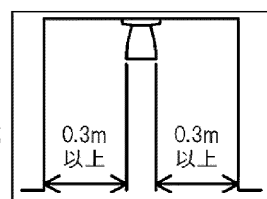
- センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



- センサーに向かって人が近づくような位置に器具を設置すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



- 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁等から0.3m以上離して取り付けるか、もしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。



2. 器具の取付方法

- ① グローブを止めているグローブ止めリングを矢印方向にゆるめて、グローブを取りはずしてください。(図2)

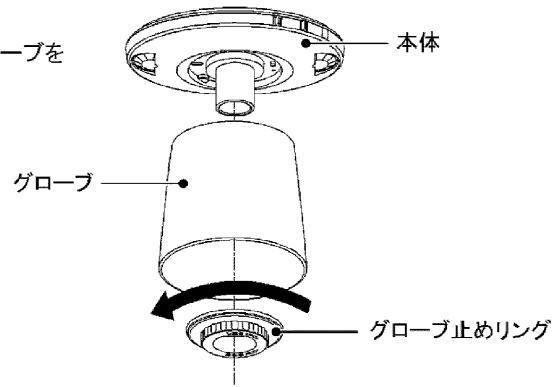
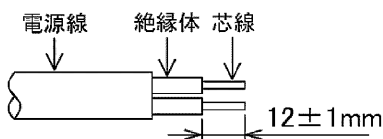


図2

- ② 電源線の被覆をストリップしてください。(図3)



(適合電線 φ1.6、φ2.0 単線)

図3

- ③ 電源電線を確実に端子台の奥まで差し込んでください。(図4)

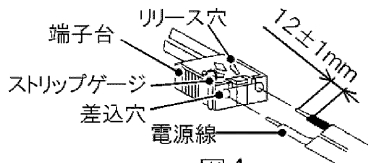


図4

警告

- 電源線皮むき寸法は 12 ± 1 mmで、垂直にカットしてください。
- 結線は電源線を奥まで確実に差し込んでください。(感電・火災の原因)

お願い

- 電源線はまっすぐなφ1.6mm、φ2.0mmの単線を使用してください。
- 曲がった電線、より線は使用しないでください。
- 電源線結線や器具加工のときは、電源線をねじったり回したりしないでください。

警告

電源電線を取りはずす際は、必ず電源を切り、リリース穴内部のレバーをマイナスドライバーで押しながら、電源線を引き抜いてください。リリース穴以外を押すと、感電の原因となります。

- ④ 本体を付属の木ねじ(2本)で、天井に確実に取り付けてください。(図5)

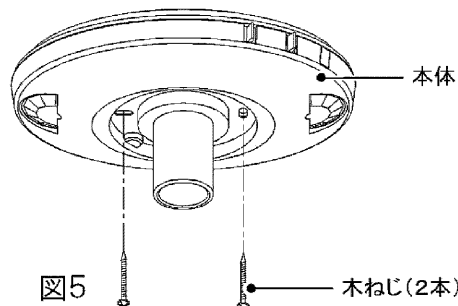
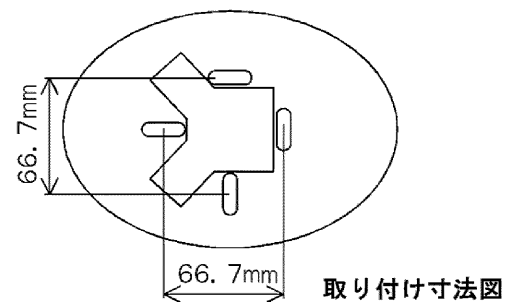


図5



取り付け寸法図

- ⑤ グローブを本体にあわせ、グローブ止めリングを矢印方向に回して確実に取り付けてください。(図6)

警告

グローブをグローブ止めリングで本体に確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となることがあります。

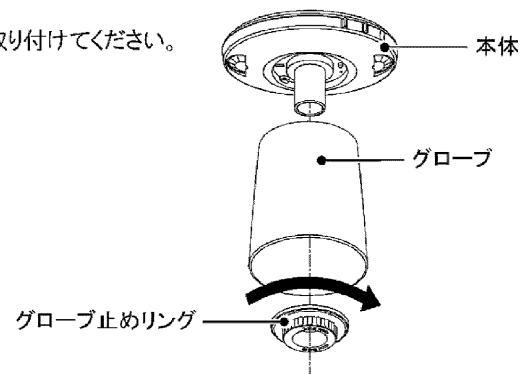


図6

⑥ランプをランプソケットに確実に取り付けてください。(図7)

| | |
|---|-------------|
| ⚠ 警告 | |
| ランプは確実に取り付けてください。 取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となることがあります。 | |
| ⚠ 警告 | |
| 適合ランプ以外は使用することができません。 器具変形・変色・火災の原因となります。 | |
| ⚠ 警告 | 火災の原因となります。 |
| 白熱電球は絶対に使用しないでください。 ランプの熱により電線等が早期劣化し損傷の原因となります。 | |

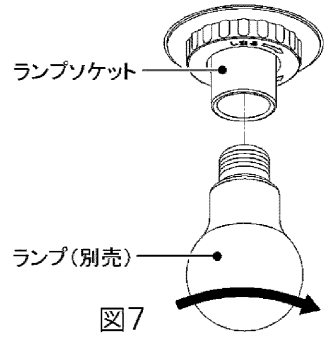


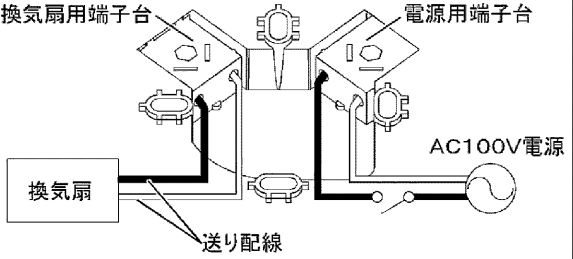
図7

3. センサー送り配線方法

※電源電線の取り付けについては、P3. 器具取付方法②、③参照してください。

- ①送り配線用電源線の被覆をストリップしてください。(12±1mm)
- ②送り配線用電源線を確実に換気扇用端子台の奥まで差し込んでください。

| | |
|--|--|
| ⚠ 警告 | |
| ●換気扇用端子台には絶対に器具用の電源線を接続しないでください。 感電・発熱・焼損・火災の原因となります。 | |
| ●センサー運動の送り配線は換気扇(別売)30W1台以下でご使用 ください。超えて使用しますと感電・発熱・火災の原因となります。 | |



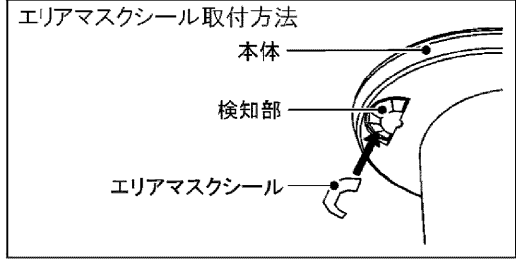
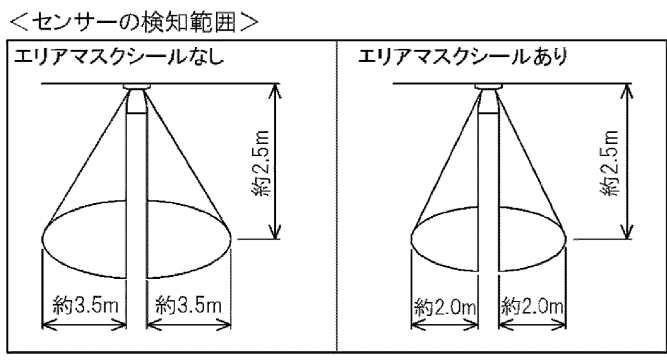
■センサーについて

1. 検知エリア(センサーが検知する範囲)

検知エリアは参考値です。
(検知範囲は室温、服装、人の移動速度により変化します。)
※照明器具の灯具の向きまたはセンサーの向きによっては
検知エリアの距離が満足しない場合があります。
※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合が
あります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が
低い時、動作しない場合があります。)

| | |
|-------------|---------------------------|
| ⚠ 注意 | ペット等小動物でも検知することが あります。 |
|-------------|---------------------------|

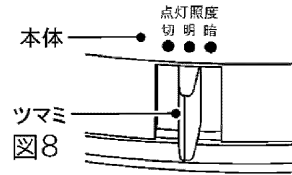
検知エリアを狭くしたい場合は、エアーマスクシールを
取り付け検知範囲を調整してください。



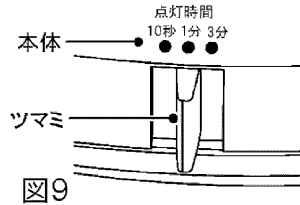
2. センサーの設定方法

電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間で周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯(100%点灯)となります。
(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約10秒間照明が点灯するので、
検知エリアを確認してください。
テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
(出荷時のスイッチ設定は点灯時間設定つまみが「3分」、点灯照度設定つまみが「明」になっています。)

- ①点灯照度設定のツマミをお好みの設定に合わせてください。(図8)
「暗」 約15lx以下になると待機状態となります。
「明」 約45lx以下になると待機状態となります。
「切」 周囲の明るさに関係なく人などの熱源を検知するたびに点灯します。
※点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。



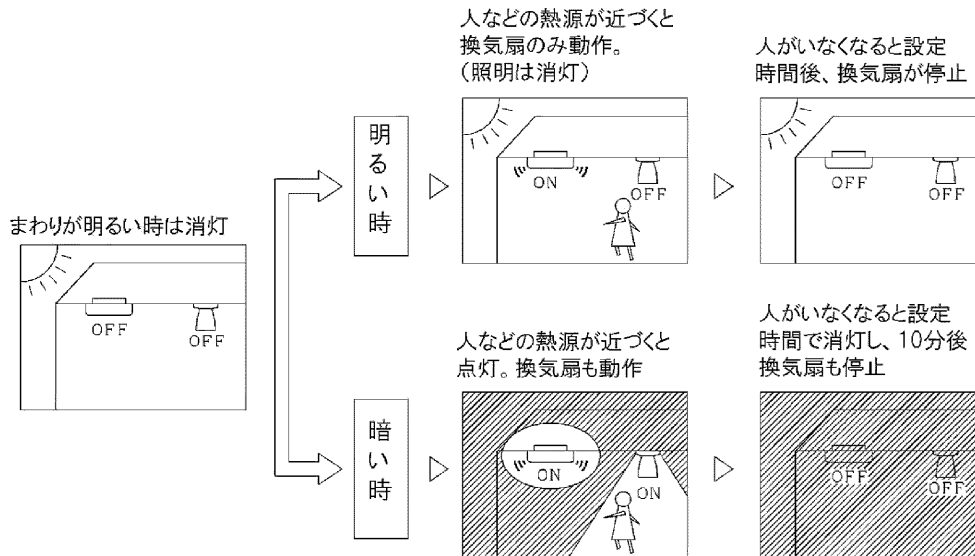
- ②点灯時間設定のツマミでお好みの時間に合わせてください。(図9)
※「10秒」、「1分」、「3分」の3段階から選べます。
※人感センサーに連動する換気扇の遅延動作時間は「約10秒+10分」、「約1分+10分」、「約3分+10分」となります。
※換気扇は人がいなくなると設定された点灯時間に関わらず、10分間動作し止まります。



3. センサー機能について

器具本体の設定スイッチを調整することにより、モードを切り替えることができます。

- 明るい時は消灯、暗い時は点灯（換気扇は、明るさに関係なく動作します。）
例：点灯照度設定「明」、点灯時間設定「1分」



●連続点灯方法について

壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人感検知に関係なく器具を点灯させることができます。

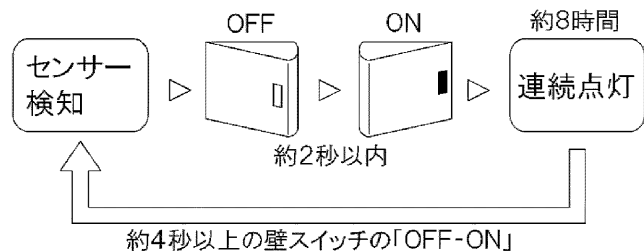
換気扇が連動している場合も、周囲の明るさ、人感検知に関係なく動作させることができます。

- 壁スイッチをOFFしてから約2秒以内にONにすると連続点灯状態になります。

連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサー検知状態にもどります。

- 連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFしてから約4秒以上してからONにするとセンサー検知状態になります。

注意 連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内)にOFF→ONを行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。



■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行なってください。

| 現象 | 考えられる原因 | 処置方法 | |
|------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 周囲が暗く なっても点灯 しない。 | 電源接続が正しく行われていない。 | 電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店などに交換をご依頼ください。) | |
| | 壁スイッチ(電源)がOFFになっている。 | 壁スイッチ(電源)をONにしてください。 | |
| | 壁スイッチが故障している。 | 壁スイッチを交換してください。(工事店などに依頼してください。) | |
| | ランプが切れている。 | 壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。 | |
| | センサーに周りの光が入っている。 | 光が入らないようにしてください。 | |
| | センサーが故障している。 | センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店などに交換をご依頼ください。) | |
| 人が近づいても 点灯しない。 | タイマー回路等に接続されている。 | タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。 | |
| | 電源接続が正しく行われていない。 | 電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店などに交換をご依頼ください。) | |
| | 壁スイッチ(電源)がOFFになっている。 | 壁スイッチ(電源)をONにしてください。 | |
| | 壁スイッチが故障している。 | 壁スイッチを交換してください。(工事店などに依頼してください。) | |
| | ランプが切れている。 | 壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。 | |
| | 厚手の服を着ている。 | 熱量を検知するためコート等を着込んでいると体温が検知されず反応しない場合があります。 | |
| | センサーの検知部の表面に汚れが付着している。 | 水で固く絞った柔らかな布で軽くセンサー検知部の汚れを落としてください。 | |
| | 検知エリアに人が入っていない。 | 検知エリアの確認、調整を行ってください。P4 | |
| | 照度検知に対し、周りが明るすぎる。 | 設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P5 | |
| | タイマー回路等に接続されている。 | タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。 | |
| 点灯したままで 消灯しない。 | 連続点灯モードになっている。 | 連続点灯モードを解除してください。P5 | |
| | 電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。 | 電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P5 連続点灯モード設定を解除してください。 | |
| | 検知エリアに熱源がある。 | 検知エリアから熱源を取り除いてください。 | |
| | 検知エリア内に、常に人感センサーに反応するものがある。 | 検知エリアから反応するものを取り除いてください。 まわりが明るくなくても、人感センサーが動作して点灯している間は、 照度センサーが動作しないため、消灯しません。 | |
| | 検知エリアに風で植木や洗濯物などが動くと検知する場合があります。 | 検知エリアの調整をしてください。 | |
| | センサーが故障している。 | センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。) | |
| | 昼間でも周囲が暗い。 | 昼間でも周囲が暗い場合は夜と認識して点灯することがあります。 | |
| | 人が近づかなく ても点灯する。 | 検知エリア内にペットなどの動物がいる。 | ペットなどの動物にも人感センサーは反応します。 |
| | | センサーに水滴がついている。 | センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。 |
| | | 検知エリアに風で植木や洗濯物などが動くと検知する場合があります。 | 検知エリアの調整をしてください。 |
| 急激な温度差や湿度差があった。 | | 温度差の激しいところ(ドア付近など、急に冷たい空気が入ってきたなど)では誤動作する 場合があります。 | |
| 検知エリアに熱源がある。 | | 検知エリアから熱源を取り除いてください。 | |
| 電源電圧の一時的で急激な変動があった。 | | 再現するかを確認してください。 | |
| センサーが故障している。 | | センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。) | |
| ランプが 短寿命である。 | LEDランプのランプ不良の場合がある。 | 壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。 | |
| | 電源電圧が高め、または低めである。 | ランプ寿命が短くなります。 | |
| | 振動が多い場所に取り付けてある。 | 振動でランプが切れる場合があります。 振動がない場所に取り付けてください。 | |
| 明るさに関係なく 人に反応し点灯 する。 | 他社製ランプで器具に適合していない。 | 当社指定ランプをご使用ください。 | |
| | [点灯照度]スイッチが「切」になっている。 | [点灯照度]スイッチを「明」または「暗」に設定してください。P5 | |
| | まわりの明るさが急に明るくなった。黒い布などでセンサーを覆っていたものを取り除いた。 | 照度センサーがまわりの明るさを検知し、待機状態を解除するまでに数分かかる場合があります。 あります。 | |
| | センサー部分が影になっている。 | 影の原因を取り除いてください。 | |
| 検知エリアに 人がいるのに ランプが消える。 | 誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。 | 壁スイッチを4秒以上OFFにしてから再びONにしてください。 設置されているセンサーのモードに戻ります。P5 | |
| | ランプが切れた。 | 壁スイッチをOFFしてからランプを交換してください。 | |
| | 検知エリア内で動かなくなった。 | 検知エリア内に人がいても、動きがない場合には人感センサーが検知しないためランプが 消えます。 動く人感センサーが検知しランプが点灯します。 | |
| ランプが点滅 する。 | センサーの電源を都度、入り切りしている。 | 電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが 点灯し消灯して待機状態となります。 | |
| | ランプの光を人感センサーの中の照度センサーが検知してしまっている。 | 器具設置場所を変更してください。 | |

■故障かな？と思ったら（つづき）

- ※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペットなどの動物の動きにも反応します。また、のれんや植物が風などで動いた場合や、水滴が人感センサー前面に動いても反応することがあります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いために、人感センサーが反応しないことがあります。
- ※2 このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態になってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。
- ※3 電源投入直後は約1分間センサー内のマイコン調整を行います。電源投入後約30秒間は点灯しその後周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約10秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。終了後、自動的に設定モードに入ります。
- ※4 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。この場合(点灯間隔は約5分)器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

■ご使用についてのお知らせ

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1度は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などにいたる恐れがあります。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 照射距離が短い場合や照射面等によって光ムラが気になる場合がございますのでご了承ください。
- 交流100V専用器具です。直流電源や交流200Vでのご使用はできません。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

■お手入れのしかた

いつも明るく安全にお使いいただくために、6カ月ごとを目安に照明器具のお掃除をしてください。



注意 ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

- 器具のよごれ(ホコリや虫など)は、ぬるま湯、または薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で拭き取ってください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。
- ランプは取りはずしてから、乾いた布で拭いてください。

お願い

- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。器具が傷む原因となります。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷が付いたり、腐食の原因となります。

■仕様

- ※ 適合ランプ、推奨ランプの仕様です。
- ※ 適合ランプ、推奨ランプの消費電力、入力電流については取り付ける器具によって異なる場合がありますが異常ではありません。
- ※ 適合ランプ、推奨ランプの詳細については、商品図面をご覧ください。

| 適合ランプ・推奨ランプ | 定格電源電圧[V] | 定格周波数[Hz] | 定格寿命[時間] | 入力電流[A] | 消費電力[W] | 待機電力[W] |
|-------------|-----------|-----------|----------|---------|---------|---------|
| LDA8LG/60W | AC100 | 50/60 | 40,000 | 0.16 | 7.8 | 0.2 |

■保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。** 但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、**お買い上げ日を特定できるもの**を添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

部品について

- 修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
 受付時間：365日 9:00~20:00
 携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)
 FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
 ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

■お客様メモ

購入年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

東芝ライテック株式会社 住空間照明機器事業部 住宅照明販売企画担当 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72-34 TEL(044)331-7553
 FAX(044)548-9604

お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。